

2024年5月29日

各位

会社名 株式会社トレジャー・ファクトリー
代表者名 代表取締役社長 野坂 英吾
(コード番号 3093 東証プライム)
問合せ先 取締役経営企画室長 小林 英治
(TEL. 03-3880-8822)

取締役会の実効性評価の結果の概要に関するお知らせ

当社は、取締役会全体の実効性を高め、機能強化を図ることを目的として、2024年2月期における取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

在任するすべての取締役6名及び監査役3名を対象に、取締役会事務局によるアンケートを実施しました。アンケートは、設問ごとの4段階評価及び自由記述方式により実施しており、主な項目は次のとおりです。

- 取締役会の規模・構成
- 取締役会の運営
- 取締役会での議論
- 取締役・監査役に対する支援体制
- その他自由意見

2. 結果の概要

アンケートの回答結果の集計及び自由意見欄に記載された意見の報告をもとに、2024年4月開催の取締役会において課題を共有し、今後の取組み等について審議いたしました。その結果、2024年2月期の取締役会の運営に関して指摘すべき重大な問題はなく、その実効性はおおむね確保できていると評価しました。

なお、質問項目のうち、改善余地があるとされた項目は、次のとおりです。

- ① 提出された資料を事前に検討する時間の確保
- ② 最高経営者等の後継者計画の監督
- ③ 自社のサステナビリティを巡る取組みについての議論
- ④ 取締役・監査役に適合したトレーニングの機会の提供

3. 今後の取組み

改善余地があるとされた項目に関して、①については、月次決算資料の一部見直しを行うこととし、月次決算・経営分析資料の提供を早めることといたします。②については、指名・報酬委員会での議論を進めており、都度、取締役会に答申書を提出して報告しておりますが、計画の方向性が定まったタイミングで、取締役会でも審議する機会を設けるよう努めます。③については、サステナビリティ推進委員会での審議内容等を、定期的に取締役会に報告し、重要課題は取締役会で審議することとしておりますので、審議時間を確保できるよう努めます。④については、他社事例の研究を進め、自社に合ったトレーニング・プログラムの策定を検討いたします。

取締役会は、今後とも、透明・公正な意思決定を行うべく、コーポレートガバナンス体制の継続的改善に取り組むことにより、更なる企業価値向上につなげてまいります。

以上